

県民の友 9

No.1033
令和6年
[2024]

月号



県政最前線

今すぐ備える 地震・津波対策

地震の揺れを体験する児童達
(紀の川市立田中小学校)

今すぐ備える地震・津波対策

令和6年1月1日、石川県で最大震度7の揺れを観測した能登半島地震において、多くの死傷者や住家への被害が発生し、今なお避難生活を余儀なくされている方もおられます。

半島という地理的条件や人口規模・構成等が能登半島と類似している和歌山県では、南海トラフ地震が、今後30年以内に70〜80%の確率で発生すると予測されています。

県では、能登半島地震において明らかになった幹線道路の寸断による集落の孤立や避難所の環境改善等の課題解決に加え、地震や津波等の災害から県民の皆さんの命を守るため、防災DXや災害情報の発信、住宅の耐震化など、あらゆる対策を進めていきます。

県民の皆さんも、防災に関する情報を入手し、今後起こるかも知れない災害に備えましょう。

※防災DX(災害対応を効果的・効率的に実施するため、デジタル技術を活用して、国・地方公共団体、インフラ事業者等の災害時における連携機能が広く民間と情報を共有することにより業務効率化を図ること)

令和6年能登半島地震の被災状況

- 死者・負傷者 死者 281名 負傷者 1,326名(令和6年7月1日14:00 消防庁)
- 住家被害 全壊 8,429棟 半壊 21,370棟 床上・床下浸水 25棟 一部破損 97,510棟(令和6年7月1日14:00 消防庁)
- 避難者数 最大51,605人(内閣府)
- 停電 最大約40,000戸(経済産業省)
- 断水 最大約136,440戸(国土交通省)

- 死因(石川県内) 約8割が「家屋倒壊」(令和6年7月4日第15報まで 石川県)
 - 孤立集落(石川県内) 最大24地区 3,345人*(石川県)
- ※令和6年1月19日14:00第57報で孤立集落の解消を発表

問	危機管理消防課	073-441-2260
	防災企画課	073-441-2271
	災害対策課	073-441-2262
	(3課共通)	FAX 073-422-7652



緊急消防援助隊として被災地で人命救助 和歌山市消防局 警防課 消防司令補 大林正幹さん



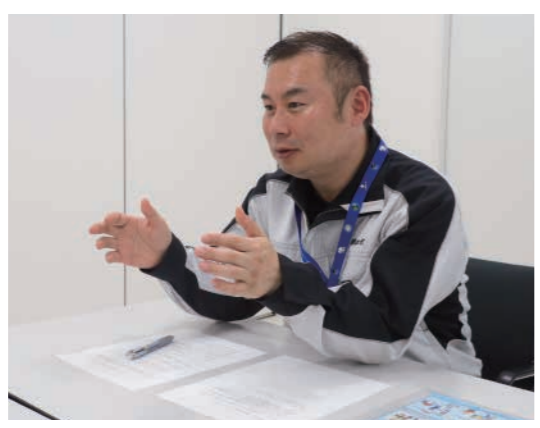
緊急消防援助隊はすぐには駆けつけられませんし、救援物資もすぐには届きません。そのため、まずは自分の命は自分で守ることが大切です。住宅の耐震化や備蓄を進め、避難ルートを確認しておくなど、自分の命を守るために必要な情報を入力して日頃から災害に備えてください。また、助け合いにより困難を乗り越えられることもあります。地域の住民同士の間でも大事にして

ると、救助隊はすぐには駆けつけられませんし、救援物資もすぐには届きません。そのため、まずは自分の命は自分で守ることが大切です。住宅の耐震化や備蓄を進め、避難ルートを確認しておくなど、自分の命を守るために必要な情報を入力して日頃から災害に備えてください。また、助け合いにより困難を乗り越えられることもあります。地域の住民同士の間でも大事にして



緊急消防援助隊:阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等により効果的かつ迅速に実施できるよう、全国の消防機関が相互に援助する体制を構築したものの。

孤立集落対策を推進 串本町 総務課 防災・防犯グループ 主任 岡田 真一さん



串本町を含む紀南地域では、地震発生時に海沿いを通る幹線道路が津波や土砂崩れ等で寸断され、孤立集落の発生が予想されます。集落の孤立が長期化すると、傷病者の移送や物資の輸送が大幅に遅れ、命の危険にさらされます。能登半島地震で発生した孤立集落の問題は決して他人事ではなく、対策を進めていかなければなりません。

能登半島地震では、孤立集落の救助・支援にヘリコプターやドローンが活用されましたが、発災直後にすぐに向かうことはできません。集落等の地域の方々が協力して備蓄や訓練を積むなどして、支援が入るまでの孤立状態に備えておく必要があります。備蓄では、水や食料等はもちろん、簡易トイレや蓄電池・発電機も必要です。通信訓練や避難訓練は、一回では身につかないため、継続して行うことが重要です。発災時に少しでも円滑に対応できるよう、地域で話し合い、災害への備えを進めましょう。

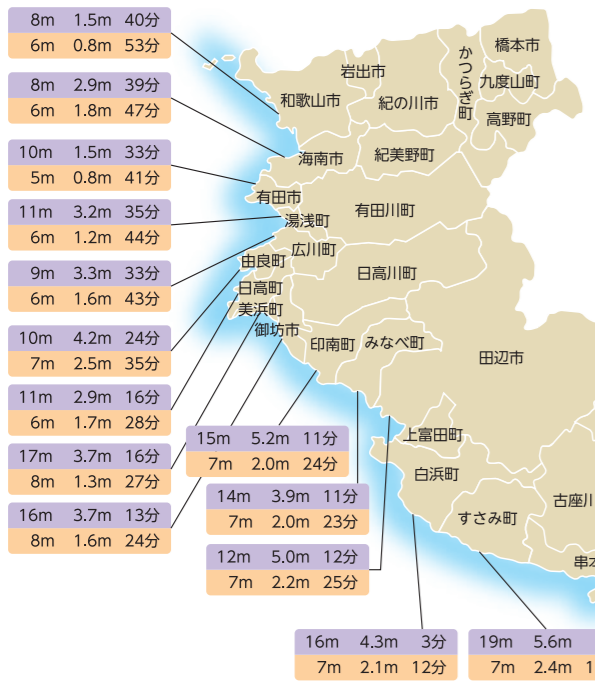
地震に備える

本県周辺では、30年以内に70〜80%の確率でマグニチュード(M)8〜9クラスの地震が発生すると予測されている南海トラフのほか、中央構造線断層帯の活動による地震等の発生が懸念されています。これらの地震は、重大な被害をもたらす、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが指摘されています。

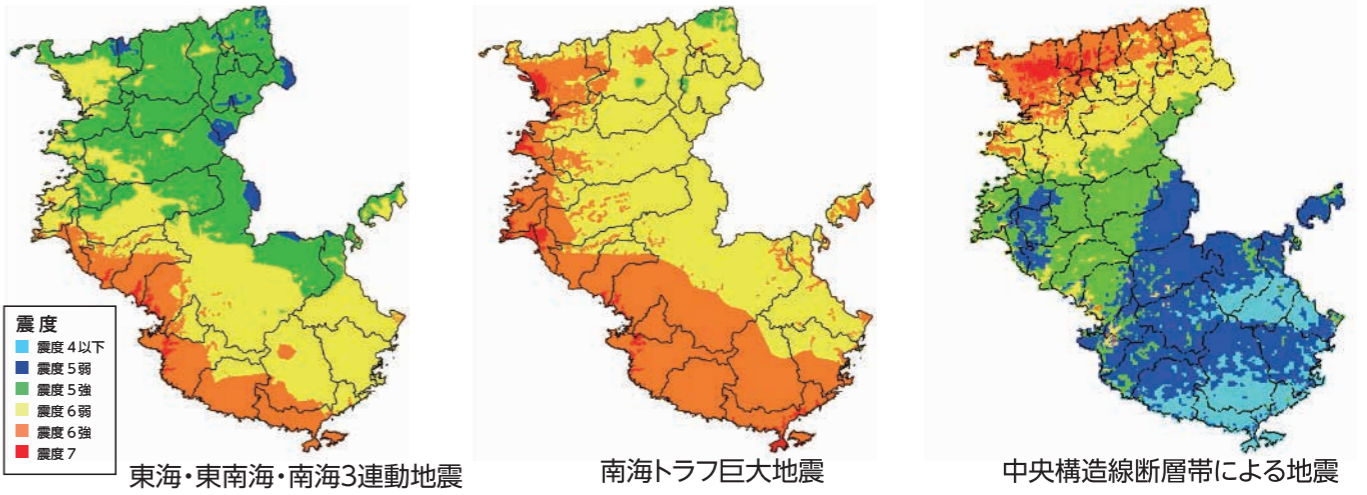
地震が起こる前に住宅の耐震化等の対策を講じ、自分の命を守るための避難行動を的確に行えるよう避難ルートを確認しておくなど、日頃からいつ起こるかもしれない地震に備えましょう。

津波に備える

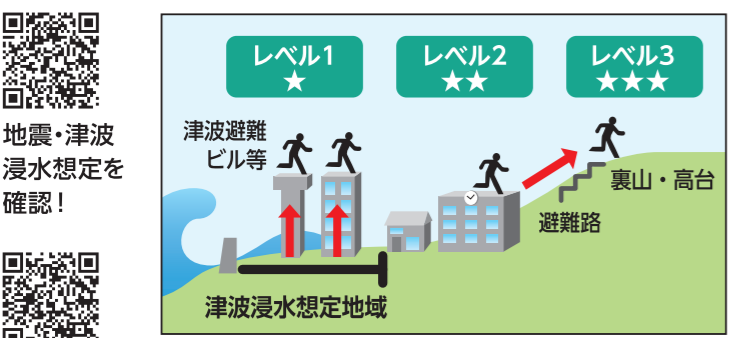
南海トラフ巨大地震		
最大津波高	平均浸水深	津波高1m到達時間
東海・東南海・南海3連動地震		
最大津波高	平均浸水深	第1波最大津波到達時間



本県で想定される大規模地震の震度分布予測



静岡県駿河湾から九州沖合の海底に伸びる南海トラフ沿いの3つの領域(東海・東南海・南海)では、これまで約90〜150年周期で津波を伴う地震が発生しており、県内でも大きな被害を受けてきました。津波による浸水が想定されている地域では、早期の避難が必要です。地震の揺れが収まったら想定にとらわれず、率先して避難しましょう。



- 避難場所の安全レベルを確認!**
- レベル3 (★★★)** 浸水の危険性がない地域で、より標高が高くより離れた安全な場所を指定
 - レベル2 (★★)** 浸水想定近接地域で、「レベル3」へ避難する余裕がない場合の避難場所として指定
 - レベル1 (★)** 浸水の危険性がある地域で、時間的に「レベル2・3」へ避難する余裕がない場合の避難場所として指定

日頃からの備え

非常持出品
避難するときにまず最初に持ち出すべきものを、避難バッグにひとまとめにし、すぐに持ち出せるよう置き場所を決めましょう。

- 非常食 飲料水 携帯ラジオ モバイルバッテリー
- 懐中電灯 ポリ袋 安全器具(ヘルメット・ライフジャケットなど) 救急医療品 常備薬 衣類、タオル など

備蓄品
救援活動が受けられるまでの間に必要な1週間分程度の水や食料などを、家屋が被災しても取り出せる場所に保管しましょう。

- 備蓄食料 備蓄水 毛布、寝袋 電池 マルチツール(ナイフ・缶切り) 卓上コンロ 簡易トイレ キッチン用ラップ ブルーシート など

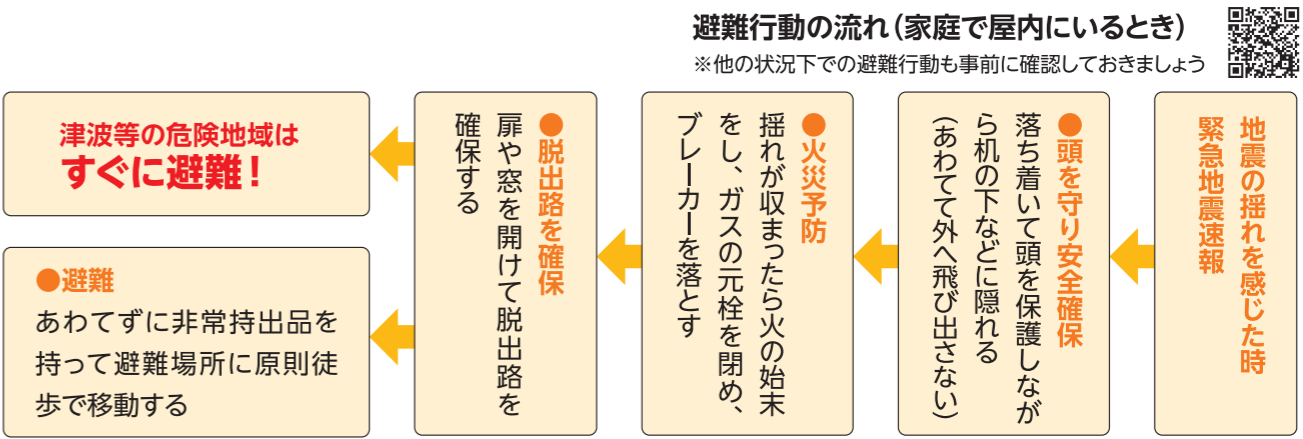
- ### 津波避難3原則
- 1 想定にとらわれない
 - 2 最善を尽くせ
 - 3 率先避難者になれ

南海トラフ地震 臨時情報

南海トラフ沿いでM6.8以上の地震等が発生し、その後、時間差で大規模地震が発生する可能性が高まった場合等に気象庁が「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。発表された場合、県や市町村の呼びかけに応じて、対応してください。

南海トラフ地震 臨時情報 (巨大地震警戒)	日頃からの地震への備えを再確認してください。また、津波から避難が間に合わない地域では、1週間の事前避難をお願いします。
南海トラフ地震 臨時情報 (巨大地震注意)	日頃からの地震への備えを再確認してください。
南海トラフ地震 臨時情報 (調査終了)	大規模地震発生可能性があることに注意しつつ、通常の生活を継続してください。

地震が起こったときは



建物の倒壊を防ぐ

地震から命を守るため、県では住宅の耐震化を支援しています。

市町村住宅耐震化担当課または県建築住宅課

☎ 073-441-3216
FAX 073-428-2038

ステップ3 対策

改修補助(上限) **116万6千円**
工事の内容によっては自己負担なし

ステップ2 相談

専門家への相談(任意) **無料**
県の認定を受けた専門家「耐震マネージャー」が改修プランの提案等をサポート

ステップ1 耐震診断

平成12年5月以前に建築された木造住宅の耐震診断 **無料**
昭和56年5月以前に建築された非木造住宅の耐震診断 診断費の2/3 (最大8万9千円)を補助

※市町村によって改修補助の上限は異なります。また、能登半島地震を契機に住宅耐震化への関心が高まり申請が相次いでいるため、改修補助の募集等を停止している場合があります。必ず事前に市町村住宅耐震相談窓口へお問合せください。

住宅の耐震化のほか、耐震シェルター・耐震ベッドの設置を補助する制度もあります。詳しくはこちら



防災情報を入手しよう

県では、「和歌山県防災ナビ」アプリや「防災わかやま」など、県民の皆さんの防災対策に役立つ情報を発信しています。日頃から積極的に防災情報を入力し、自分や大切な人の命を守るための行動につなげてください。

和歌山県防災ナビ(アプリ)

- 近くの避難先を検索
- 避難先の安全レベルを確認
- 避難先までの最短ルートを地図上に表示



アプリのダウンロードはこちら



- 家族などの居場所を確認
- 日頃からの避難トレーニング
- 防災情報をプッシュ通知でお知らせ
- 河川水位情報・土砂災害危険度情報を確認
- 災害時に必要な備蓄品目や数量を計算

必要な備蓄品リスト	
以下のリストを参考に必要なものを備蓄するよう心がけましょう。	
人数(家族)	4人
うち高齢者(0-2歳)	0人
備蓄日数	7日
食品等	
水	:84L
レトルトご飯(お粥) 1パック	:84食
レトルト食品(お味噌汁)	:28食

防災わかやま(WEBサイト)

避難情報や避難所の開設状況、気象情報、通行規制、土砂災害警戒情報や雨量防災情報などをリアルタイムで確認できます。



防災情報を入手

- 防災わかやま WEBサイト
- 防災わかやま メール配信 サービス
- 防災わかやま X



出張！減災教室

危機管理消防課

☎073・441・2280
FAX 073・422・7652

体験学習を通じて防災・減災対策を学べる講座を実施しています。自治会や企業の研修、学校の防災教育などにご利用ください。

- 地震体験車「こりよう君」による地震体験
- 地震・津波についての基礎講座
- L型金具等を用いた家具固定講座
- 構造模型を用いた住宅の耐震化講座
- きいちゃんの災害避難ゲーム

稲むらの火の館〜津波防災教育センター〜

濱口梧陵の防災精神や「稲むらの火」の人命尊重の精神を踏まえ、地震・津波災害から命を守る備えを学ぶことができます。

場所：広川町広671
入館料：一般500円、高校生200円、小・中学生100円
(記念館は無料)
時間：10時～17時
休館：月曜日(祝日の場合は次の平日)、年末年始
☎0737・64・1760
FAX 0737・64・1761



災害対応力の強化

能登半島地震では、幹線道路の被災により道路交通が遮断され、至るところで集落の孤立が長期にわたって発生しました。また、避難所での生活が長期化する中で、生活環境の悪化や精神的な負担により体調を崩すなどして亡くなる「災害関連死」が発生するなど、避難所の環境改善が課題となりました。

県では、こうした課題の解決に加え、南海トラフ地震等の災害から県民の命と暮らしを守るため、地域防災力の向上に資する防災・減災対策の充実と強化を図っています。

避難所の環境整備を促進

能登半島地震の被災地では、高齢者の方等がより安心して快適に利用できるトイレカー・トイレトレーラーや、温かい食事を提供できるキッチンカーが活躍しました。本県でもトイレカーやキッチンコンテナを整備するなど、避難所の環境改善に資する対策を進めています。



兵庫県南あわじ市提供

孤立可能性集落での通信訓練

災害時に孤立の可能性のある集落では、通信手段を確保し、通信できるよう日頃から備えておくことが重要です。

県では、市町村と連携し、通信機器を整備するとともに、災害時に孤立の可能性のある集落と市町村間で、通信設備の状態と操作の確認を目的とした通信訓練を行っています。



ドローンを活用した災害対応ガイドラインを策定

能登半島地震の被災地では、孤立集落への物資の輸送や捜索活動・情報収集にドローンが活用されました。県では、これまでもドローンの防災への活用を検討してきましたが、防災上の課題に対応し県民の皆さんの安全・安心につなげるため、「ドローンを活用した防災・減災対策に係るガイドライン」を市町村向けに策定しました。今後もドローンのさらなる利活用を促進していきます。

ドローンの活用が求められる防災上の課題

- ・人員不足の中での災害対応
- ・被害情報の迅速・正確な把握
- ・沿岸地域での迅速な住民避難
- ・孤立した集落への必要物資の供給

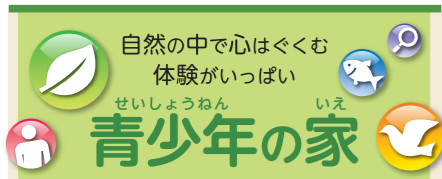


災害時における空港の活用

空港は、災害時に適切に機能を保持できれば、救急・救命活動の拠点として活用でき、陸路など他の輸送方法の代替機能として、その役割を有効に果たすことができます。

県では、能登半島地震で発生した孤立集落の課題に対するヘリコプター等の空路の有効性と、施設の耐震化等災害時に空港機能を保持するための備えについて検討し、既に広域防災拠点としての役割を担っている旧南紀白浜空港跡地や熊野白浜リゾート空港を活用した防災対策をさらに進めています。





せいしょうねん いえ 紀北青少年の家

〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531

ハロウィンナイト よる かそうこうしん ～夜の仮装行進～

時:10月12日(土)～13日(日)1泊2日
対・定:小学4～6年生 30人 **先着順**
費:5,000～5,840円/人
申:9月1～28日

しらさき せいしょうねん いえ 白崎青少年の家

〒649-1123 由良町大引961-1
☎0738-65-2351 FAX0738-65-2352

ファミリーアウトドアキャンプ

時:10月26日(土)～27日(日)1泊2日
定:8家族 **抽選**
費:4,500～4,760円/人
申:8月27日～10月4日

ほのぼのデイキャンプ

時:11月9日(土)10:00～15:00
定:10家族 **抽選**
費:1,500～1,800円/人
申:9月10日～10月18日

しのおみさき せいしょうねん いえ 潮岬青少年の家

〒649-3502 串本町潮岬669
☎0735-62-6045 FAX0735-62-0182

ハロウィン パーティー HALLOWEEN PARTY2024

時:10月26日(土)～27日(日)1泊2日
対・定:小学4～中学3年生 10組 **先着順**
費:5,500円/人
申:9月21日～10月5日



※申し込み方法など詳しくは施設へお問い合わせください。

〇〇青少年の家 🔍

だい かい 第8回わかやまリレーマラソン ～パンダRUN～

時・部門:11月24日(日) ①ファミリー②
ハープリレー③フルリレー
場:紀三井寺公園(和歌山市)
対:②③小学生以上
定:①500人②③計200チーム **先着順**
費:②③2,000円(小・中学生1,000円)/人
申:FAX、インターネットで10月10日ま
でにエントリー
※FAX申込用紙はWEBサイトで配布
FAX073-488-7308
問:わかやまリレーマラソン実行委員会
事務局
☎073-441-3699
※詳しくはWEBサイトを要確認
わかやまリレーマラソン 🔍



わかやまこころのフェスタ2024

時:10月14日(祝)
①13:00～13:40 オープニングイベント、
和歌山県精神保健福祉協会会長表彰、
「ほっとする 笑顔つながる こころの絵」
表彰
②14:00～15:30 講演会
講師:中村 郁 氏(声優・ナレーター)
演題:発達障害で「ぐちゃぐちゃな私」が
最高に輝く方法
③10:00～16:00 団体の活動紹介、作
品展示・販売
場・定:ビッグ愛(和歌山市)②100人 **先着順**
申・問:②のみ電話、FAXで住所、氏名、
電話番号を10月10日までに県精神保
健福祉センター
☎073-435-5194 FAX073-435-5193
※手話通訳・要約筆記あり

ありだしゅうしょく 有田就職フェア

時:10月5日(土)13:30～15:30
場:有田市文化福祉センター
問:紀州有田商工会議所
☎0737-83-4777 FAX0737-83-4782
※面談希望者は履歴書持参
※詳しくはWEBサイトを要確認
紀州有田商工会議所 🔍

しょく あんぜんいけんこうかんかい 食の安全意見交換会

テーマ:知っておきたい健康食品
と食品表示
時:10月1日(火)13:30～15:00
場・定:串本町役場 30人 **先着順**
申・問:郵送、電話、FAX、Eメールで申
込書(申込先、WEBサイトで配布)を9月
24日(一時保育・手話通訳・要約筆記は
9月12日)までに生活衛生課
☎073-441-2634 FAX073-432-1952
✉e0316001@pref.wakayama.lg.jp

せいかつきょうようこうざ 生活教養講座

今話題の生活情報や消費者トラブルに
備える知識を学ぶ
時:10月2～23日の水曜(全4回) いずれ
も13:30～15:00
場・定:問合先 30人 **先着順**
申・問:郵送、電話、FAXで住所、氏名、
電話番号、参加希望日を9月19日ま
でに県消費生活センター
〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山
ビッグ愛8階
☎073-433-1551 FAX073-433-3904
(和歌山県消費生活センター) 🔍

けんりついかだいがくこうざ 県立医科大学講座

①市民公開講座
テーマ:認知症と音楽療法
時:10月5日(土)14:00～16:00
場・定:県立医科大学紀三井寺キャン
パス講堂(和歌山市) 400人 **抽選**
②最新の医学・医療カンファランス
テーマ:「^{すい}臓がんを諦めないで」「患者に
とって飲みやすい薬とは?」
時:10月10日(木)14:00～16:00
場・定:県立医科大学紀三井寺キャン
パス図書館棟(和歌山市) 30人 **先着順**
①②共通
申・問:電話、FAX、Eメールで申込書
(WEBサイトで配布)を①9月27日②19
日までに①県立医科大学附属病院認知
症疾患医療センター
☎073-441-0776 FAX073-441-0917
✉dementia@wakayama-med.ac.jp
②県立医科大学生涯研修センター
☎073-441-0789 FAX073-441-0713
✉life@wakayama-med.ac.jp
※いずれも手話通訳・要約筆記は要予約
(和歌山県立医科大学) 🔍

どうぶつあいご 動物愛護フェスティバル

講演や動物とのふれあい体験など
時:10月6日(日)12:30～16:00
場:粉河ふるさとセンター(紀の川市)
問:生活衛生課
☎073-441-2630 FAX073-432-1952
※手話通訳あり

にんちしょう ひと かぞく えんじょ 認知症のひとと家族への援助を ぜんこくけんきゅうしゅうかい すすめる全国研究集会

認知症に関する講演、発表など
時:10月20日(日)10:00～15:30
場:①和歌山城ホール(和歌山市)②自宅
などからオンライン
費・定:1,000～2,000円/人 800人 **先着順**
申・問:FAX、インターネットで申込書
(WEBサイトで配布)を①10月4日②18
日までに公益社団法人認知症のひとと家
族の会和歌山県支部
☎073-432-7660 FAX073-432-7661
(認知症のひとと家族の会和歌山県支部) 🔍

けんりつさんぎょうぎじゅつせんもんがくいん 県立産業技術専門学院 オープンキャンパス

【和歌山学院】
時:9月28日(土)
場:和歌山産業技術専門学院
【田辺学院】
時:10月5日(土)、11月23日(祝)
場:田辺産業技術専門学院(情報システ
ム科のみ情報交流センター Big-U)
【共通】
対:中学・高校生、一般
申・問:電話、FAX、インターネットで氏
名、電話番号、学校名(生徒のみ)、体
験希望科を各開催日の2日前13時まで
に各学院
和歌山産業技術専門学院
☎073-477-1253
FAX073-477-1254
田辺産業技術専門学院
☎0739-22-2259
FAX0739-22-3123



9 おしらせ

県庁・県教育庁
☎073-432-4111 (代表)
郵送:〒640-8585 〇〇課あて(住所不要)

各振興局代表電話	伊都 ☎0736-34-1700	西牟婁 ☎0739-22-1200
海草 ☎073-432-4111	健康福祉部 ☎0736-42-3210	東牟婁 ☎0735-22-8551
健康福祉部 ☎073-482-0600	有田 ☎0737-63-4111	健康福祉部 ☎0735-72-0525
建設部 ☎073-488-7876	日高 ☎0738-22-3111	串本支所
那賀 ☎0736-63-0100	健康福祉部 ☎0738-22-3481	串本建設部 ☎0735-62-0755

時…期日・時間 場…場所・会場 対…対象・資格 定…定員 費…費用 申…申込・応募方法
問…問合せ ✉…Eメール 🔍…WEBサイトを検索
掲載のイベントについては、中止や延期になる場合があります。詳しくは主催者にお問い合わせください。

公式SNSで
県政情報を
配信中▶▶▶

X	LINE	Facebook	Instagram	YouTube
---	------	----------	-----------	---------

びょうどうすいしん ジェンダー平等推進センターから

①語り合い広場
「紫式部、「人生の選択」～『源氏物語』に
込められた思いとは?～」
時:10月5日(土)13:30～15:30
場・定:問合先 30人 **先着順**
申:郵送、電話、FAX、Eメール、インテ
ルネット、来所で氏名、住所、電話番号を
事前に問合先
※一時保育は9月24日までに要予約
②保育つき読書の時間
こどもを預けて読書でリフレッシュ
時:10月17日(木)10:00～12:00
場・定:問合先 10組 **先着順**
対:保護者とこども(6カ月～未就学児)
申:郵送、電話、FAX、Eメール、インテ
ルネット、来所で住所、氏名、電話番号、
こどもの生年月日を10月6日までに問
合先
③大学生等キャリアデザイン講座
「ジェンダー平等ワールド・カフェ～大学
生等と若手社会人の本音ミーティング～」
時:10月19日(土)13:30～16:00
場・定:問合先 10人程度 **先着順**
対:県内在住または在学の大学生など
申:電話、FAX、Eメール、インターネッ
トで氏名、学校名、学部名、学年、連絡
先を10月11日までに問合先
①～③共通
問:県ジェンダー平等推進センター
〒640-8319和歌山市手平
2-1-2 和歌山ビッグ愛9階
☎073-435-5245 FAX073-435-5247
✉①②libre@sirius.ocn.ne.jp
③e1105011@pref.wakayama.lg.jp

もよお 催し

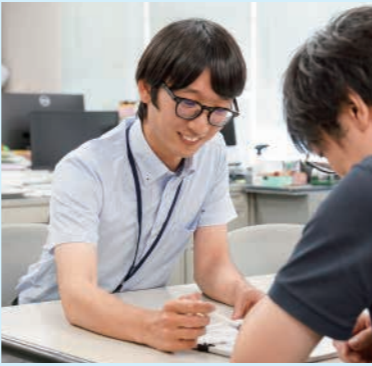
にほんけんほぞんかい わかやましづてんらんかい 日本犬保存会和歌山支部展覧会

①一般の方の展覧会見学
時:10月6日(日)9:00～14:30
②愛犬の展覧会参加・お困り相談
時:10月6日(日)11:45～12:45
対・定:日本犬保存会の非会員で、血統
書のある日本犬の飼い主 20人 **先着順**
申:血統書を持参の上、現地で申込書に
記入し、開催日の10:00～11:00に問合
先へ提出
①②共通
場:市民スポーツ広場(和歌山市)
問:日本犬保存会和歌山支部
☎(FAX)0739-72-5051
(日本犬保存会) 🔍

きぎょう だんたいむ 企業・団体向け あいサポーター けんしゅう 研修

障害の特性を理解し、障害のある方への手
助けや配慮ができる「あいサポーター」を養成
時・場:①9月13日(金) 情報交流センター
Big-U(田辺市)②9月18日(水) 県民文化
会館(和歌山市) いずれも14:00～15:30
対:県内企業・団体の研修担当者
定:40人 **先着順**
申・問:FAX、Eメールで申込書
(申込先、WEBサイトで配布)
を9月11日までに障害福祉課
☎073-441-2530 FAX073-432-5567
✉e0404001@pref.wakayama.lg.jp

けんちょう わか ちから 県庁の若い力



林 知仁
西牟婁振興局健康福祉部(田辺保健所)
職種:薬剤師 採用:令和2年度

医薬品の調剤や薬物治療だけでなく、公衆衛生全般の関わりを通して人々の健康増進に貢献したいと思い、入庁を志望しました。現在は、旅館業・公衆浴場 飲食店などの営業許可や立入検査、医薬品販売に関する許可、薬物乱用防止の啓発などを担当しています。業務は多岐にわたりますが、安心して食事ができる、清潔な環境で過ごせるといった公衆衛生の観点から、県民の皆さんの生活や健康を支えられることにやりがいを感じています。

公衆衛生の向上には、行政だけでなく民間施設等を運営する事業者の方々の理解が不可欠です。特に施設の衛生管理は、事業者が主体的に継続して取り組むことでようやく有効なものになります。そのため、一方的に指導するのではなく、一緒に改善策を考えながら事業者に寄り添い、サポートすることを心がけています。

獣医師、栄養士など、さまざまな職種の同僚と連携しながら、今後も地域の公衆衛生の向上に務めていきたいと思っています。

元気ある県職員を募集 採用情報はこちら▼

しけん 試験

しよりにしゃ クリーニング師・フグ処理者

- ①クリーニング師
時:11月7日(木)10:30~
場:県民文化会館(和歌山市)
費:7,000円(手数料)
申:郵送、持参で10月1~11日に問合先
- ②フグ処理者
時:11月26日(火)10:00~17:00
定・費:30人(先着順) 30,000円
- ①②共通
願書配布:申込先、WEBサイト
問:生活衛生課
☎073-441-2620 FAX073-441-2639
※申込等詳しくはWEBサイトを確認

しょうがいしゃ たいしょう けんしよくいんさいよう 障害者を対象とした県職員採用

- 時:10月27日(日)10:00~
場:県民文化会館(和歌山市)
試験区分・採用予定人数:一般
事務3人程度、警察事務1人程度
※受験資格など詳しくは試験案内またはWEBサイトを要確認
- 案内配布:申込先、県パスポートセンター、振興局総務県民課など
- 申・問:郵送、インターネットで9月2~20日に県人事委員会事務局
☎073-441-3763 FAX073-433-4085
※手話通訳・要約筆記は要予約

なんびようかんじや しゆろう ねんきん りようようそうだんかい 難病患者の就労・年金・療養相談会

- 時・場:①10月2日(水)御坊保健所②10月11日(金)田辺保健所③10月30日(水)マルコーホーム中央コミュニティセンター(和歌山市) いずれも13:30~16:30
- 対・定:難病患者や家族 各回12人(先着順)
- 申・問:電話、FAXで住所、氏名、電話番号、希望日、相談内容を各開催日の2週間前までに県難病・子ども保健相談支援センター ☎073-445-0520 FAX073-445-0603

あ や そうだんかい 空き家なんでも相談会

- 実家の相続、処分、管理などの相談
- 時:①10月4日(金)②10月13日(日) いずれも13:30~16:00
- 場:①かつらぎ町役場②白浜町役場
- 申・問:電話、FAX、持参で氏名、電話番号、希望日、会場、相談内容を各開催日の3営業日前までに申込
- ①②建築住宅課
☎073-441-3184 FAX073-428-2038
- ①伊都振興局建設部
☎0736-33-4922 FAX0736-33-4928
- ②西牟婁振興局建設部
☎0739-26-7922 FAX0739-26-4114

たから はつばい ハロウィンジャンボ宝くじ発売!

- ハロウィンジャンボ・ハロウィンジャンボミニが同時発売されます。宝くじの購入はぜひ県内で。
- 発売期間:9月17日~10月17日
- 問:財政課
☎073-441-2160 FAX073-422-8384

はつたつしょうがいじ しゃ じゆんかいそうだん 発達障害児・者 巡回相談

- 時・場:【橋本保健所】10月17日、11月21日、12月19日の木曜
【御坊保健所】10月18日、11月15日、12月20日の金曜
【新宮保健所】10月10日、12月12日の木曜
【新宮保健所串本支所】11月14日(木) いずれも11:00~16:00
- 申・問:電話、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号を希望日2週間前までに県発達障害者支援センターポラリス ☎073-413-3200 FAX073-413-3020
✉polaris@jtw.zaq.ne.jp
和歌山県発達障害者支援センター

とう いぞんしょうこべつそうだんかい ギャンブル等依存症個別相談会

- 時:10月3日(木)13:00~17:00
- 場:東牟婁振興局(新宮市)
- 対:当事者やその家族
- 申・問:電話、FAXで9月27日までに新宮保健所
☎0735-21-9629 FAX0735-21-9639

ぼしゆつ 募集

しよくぎょうくねんじゆこうせい 職業訓練受講生

- 就職に有利な専門知識や技能を習得
- 科目:OA事務、WEBデザイン、介護など
- 申・問:ハローワーク(申込締切日あり)
※詳しくはWEBサイトを要確認
和歌山労働局 職業訓練

たいようこうはつでんせつび ちくでんちとう 太陽光発電設備・蓄電池等 導入支援事業補助金

- 対:個人、事業者
- 定:予算上限に達し次第終了(先着順)
- 申・問:郵送、持参で申請書(申請先、WEBサイト、振興局で配布)を1月31日17:00までに脱炭素政策課
☎073-441-2674 FAX073-433-3590
※要件や補助金額など詳しくはWEBサイトを要確認

そうだん 相談

ほう ひ しほうしよし むりようそうだんかい 「法の日」司法書士無料相談会

- 相続登記や遺言、借金などの相談
- 時:10月1日(火)~7日(月)10:00~16:00(土日除く)
- 場:各司法書士事務所ほか
- 問:県司法書士会
☎073-422-0568
和歌山県司法書士会

とくせつろうどうそうだんかい 特設労働相談会

- 賃金、解雇、パワハラなどの相談
- 時:10月6日(日)12:00~18:00
- 場:イオンモール和歌山(和歌山市)
- 対・定:県内の事業所に勤務する労働者と事業主 20人(先着順)
- 申・問:電話、Eメールで氏名、電話番号、相談内容を10月4日までに労働委員会事務局
☎073-441-3781 FAX073-423-3012
✉e2202001@pref.wakayama.lg.jp

いりようてき じとう かぞくこうりゆうかい エンployアビリティ 養成研修

- 時・テーマ:9月21日(土)「AI時代の人材に求められるスキルとマインドセット」
10月6日(日)「信頼をつくるコミュニケーションスキル」
10月20日(日)「相手に伝わる伝え方」
11月2日(土)「上司の信頼を勝ち取る職場での報連相」
11月17日(日)「仕事ができる人のビジネス文書・メール作成」
- 場:オンライン
- 対:県内企業への就職希望者
- 申・問:インターネットで各開催日の3日前までに(株)キャリア・プレスユー
☎073-425-3331 FAX073-425-3600

じぎょうしゃむ エルジーピーティーキューけんしゆう 事業者向けLGBTQ研修

- 時:10月9日(水)13:30~15:30
- 場:県自治会館(和歌山市)
- 対・定:企業の経営者、人事担当者等130人(先着順)(オンラインは定員なし)
- 申・問:インターネットで9月25日までに多様な生き方支援課
☎073-441-2510 FAX073-441-2501
※手話通訳・要約筆記は要予約

いりようてき じとう しえんしゃ 医療的ケア児等支援者・ コーディネーター養成研修

- ①支援者養成研修
時:11月28日(木)・29日(金)の2日間
場:紀の国住宅南コミュニティセンター(和歌山市)
- ②コーディネーター養成研修
時:11月28日(木)・29日(金)・令和7年2月12日(水)・13日(木)の4日間
場:紀の国住宅南コミュニティセンター(和歌山市)、和歌山市北コミュニティセンター
- ①②共通
定:各50人(選考)
- 申・問:郵送、FAXで申込書(申込先、WEBサイトで配布)を9月24日~10月11日に和歌山つくし医療・福祉センター 〒649-6215岩出市中迫665
☎0736-67-7036 FAX0736-69-5060
※手話通訳・要約筆記は要予約

いりようてき じとう かぞくこうりゆうかい 医療的ケア児等の家族交流会

- 時:11月24日(日)13:30~15:30
- 場:県障害児者サポートセンター(和歌山市)
- 対・定:和歌山市内在住の医療的ケア児等とその家族など 15組(先着順)
- 申・問:郵送、Eメールで申込書(申込先、WEBサイトで配布)を9月9日~10月4日までに県医療的ケア児等支援センター(障害福祉課内)
☎073-435-2030 FAX073-432-5567
✉e0404003@pref.wakayama.lg.jp
※手話通訳・要約筆記は要予約

なんびよう ほんけんそうだん 難病・子ども保健相談 支援センターから

- ①小児の炎症性腸疾患講演会・交流会
時:10月27日(日)14:00~16:30
場:和歌山県JAビル(和歌山市)
定:30人(先着順)
- 申:インターネットで10月16日(手話通訳は9月26日)までに問合先
- ②膠原病疾患講演会・交流会
時:11月9日(土)13:30~16:00
場:情報交流センター Big・U(田辺市)
定:50人(先着順)
- 申:電話、インターネットで11月1日(手話通訳は10月8日)までに問合先
- ③小児の心疾患講演会・交流会
時:11月10日(日)13:30~16:00
場:マルコーホーム中央コミュニティセンター(和歌山市)
定:30人(先着順)
- 申:インターネットで10月30日(手話通訳は10月9日)までに問合先
- ①~③共通
対:患者(児)、家族、医療関係者など
- 問:県難病・子ども保健相談支援センター
☎073-445-0520 FAX073-445-0603

なんちようしゃ しゆわきようしつ 難聴者サロン・手話教室

- 時:【教室】9月30日【サロン】10月7日 いずれも月曜13:30~15:00
- 場:ビッグ愛(和歌山市)
- 対・定:県内在住の難聴の方 各20人(先着順)
- 問:県聴覚障害者情報センター
☎073-421-6311 FAX073-421-6411
和歌山県聴覚障害者情報センター

きゅうきゅう
9月9日は救急の日

問: 医務課 ☎073-441-2604 FAX073-424-0425
緊急性が低い場合は救急車の利用は避ける、急病以外は通常診療時間内に受診するなど、救急医療の適正利用をお願いします。

休日・夜間のこどもの症状で困ったときは
こども救急相談ダイヤル #8000

看護師などが相談に応じます。
相談時間: 平日19:00～翌朝9:00、土日祝日・年末年始(12/29～1/3)9:00～翌朝9:00

☎#8000(プッシュ回線・携帯電話)
☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

受診できる医療機関を知りたいときは
和歌山県救急医療情報センター(24時間)

☎073-426-1199
※歯科の時間外案内は行っていません。

げすいどう
9月10日は下水道の日

和歌山県にはきれいな川や美しい海がたくさんあります。しかし、身近な生活排水を適切に処理しないと、川や海が汚れてしまいます。きれいな水を未来に残すため、下水道が使える区域(供用開始区域)になりましたら、接続工事をお願いします。下水道への接続に関する助成制度については、お住まいの市町へお問合せください。

問: 市町、下水道課 ☎073-441-3200 FAX073-436-2940

じざつぼうしゅうかん
自殺予防週間(9月10～16日)

一人でも多くの自殺者をなくすため、自分や悩んでいる人の心の健康や命の大切さについて考える機会です。人に話すことで心が楽になるかも知れません。

自殺防止相談「はあとライン」☎0570-064-556(毎日24時間)
問: 県精神保健福祉センター ☎073-435-5194 FAX073-435-5193

どうろこうつうほう かいせい
道路交通法が改正されます!

【施行予定日】令和6年11月1日

問: 県民生活課 ☎073-441-2350 FAX073-433-1771 県警本部交通企画課 ☎073-473-0110
自転車の交通事故防止のため、自転車の酒気帯び運転や運転中の携帯電話の使用等に対する罰則規定等が設けられます。交通ルールとマナーを守って自転車を運転しましょう!

【主な改正内容】

①自転車の酒気帯び運転等に対する罰則整備

自転車の酒気帯び運転及びこれを助長する行為(同乗・車両提供・酒類提供)が罰則の対象となります。
<罰則>3年以下の懲役または50万円以下の罰金
※現行法においても、酒気を帯びて自転車を運転することは禁止されており、自転車の酒酔い運転は罰則の対象となっています。

②自転車運転中の携帯電話使用等の罰則強化

自転車運転中の携帯電話使用等に対する禁止規定が設けられ、罰則が強化されます。
<罰則>6月以下の懲役または10万円以下の罰金
交通の危険を生じさせた場合は1年以下の懲役または30万円以下の罰金

③ペダル付き原動機付自転車の運転の明確化

いわゆるモペットなどの「ペダル付き原動機付自転車」について、原動機を用いずにペダルのみで走行する場合であっても、「原動機付自転車等の運転」にあたる事が明確に規定されます。
※ペダル付き原動機付自転車は、原動機付自転車または自動車に該当します。運転には、運転免許の取得や自賠責保険への加入、ナンバープレートの取付け・表示が必要です。



広告

今月の催し 県立施設

展は展示 イベントはイベント
*の施設は入館料が必要(65歳以上、障害者、高校生以下、外国人留学生は入館無料)
和歌山ミュージアムコレクション

●施設無料開放日のご案内

県立近代美術館・博物館:9月1日(日)、10月6日(日)
県立自然博物館:9月25日(水)、10月30日(水)
紀伊風土記の丘:9月1日(日)、10月5日(土)

けんりつ きんだいびじゅつかん ☎073-436-8690 FAX073-436-1337
県立近代美術館 * 〒640-8137和歌山市吹上1-4-14
9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

展 ①コレクション展2024-夏 特集:旅する美術
②企画展「なつやすみの美術館14 河野愛『こともの、と』」
いずれも開催中～9月23日(振休)

けんりつ はくぶつかん ☎073-436-8670 FAX073-436-6643
県立博物館 * 〒640-8137和歌山市吹上1-4-14
9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

展 世界遺産登録20周年記念特別展「聖地巡礼-熊野と高野-」
第Ⅱ期「神仏・祖師の住まう山-高野山上・山麓の宗教文化-」
開催中～9月29日(日)

けんりつ しぜん はくぶつかん ☎073-483-1777 FAX073-483-2721
県立自然博物館 * 〒642-0001 海南市船尾370-1
9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

イ ①川原の石の観察会②木の実や種をさがしてみよう
①10月13日②10月20日 いずれも日曜13:00～15:00
場:①紀の川川原(紀の川市)
②護摩壇山森林公園ワイルドライフ周辺(田辺市)
対・定:小学生以上 各20人 抽選
申:①～9月22日②～9月29日

かたおなみこうえん まんようかん けんこうかん ☎073-446-5553 FAX073-446-5554
片男波公園万葉館・健康館 〒641-0022和歌山市和歌浦南3-1700
9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

イ ①ハロウィンのフラワーアレンジメント
②秋のスワッグづくり
10月6日(日)①10:00～11:30②13:00～14:30
対・定・費・申:小学生以上 各10人 先着順 1,800円 事前申込
イ 青空ヨガ 10月6日(日)14:00～15:15
定・費・申:30人 先着順 500円(高校生以下無料) 事前申込

しよくぶつこうえんりょつか ☎0736-62-4029 FAX0736-63-2570
植物公園緑花センター 〒649-6211 岩出市東坂本672
9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館/火曜・水曜

イ スチールパン教室
9月28日(土)・29日(日)10:00～、11:10～ 各1時間
定・費・申:各回5人 先着順 1,000円 事前申込

展 森のキノコ展 9月15日(日)～16日(祝)
イ キノコ観察会 9月16日(祝)13:30～15:30

けんりつ はしもと たいいくかん ☎0736-32-9660 FAX0736-32-9650
県立橋本体育館 〒648-0061 橋本市北馬場455
9:00～21:00 休館/火曜

イ 秋のワンコイン100円! 免疫アップヨガ・体操体験会
9月26日(木)10:00～12:00
対・定・費・申:18歳以上 25人 先着順 100円 事前申込

きい ふどき おか ☎073-471-6123 FAX073-471-6120
紀伊風土記の丘 * 〒640-8301 和歌山市岩橋1411
9:00～16:30(入館は16:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

展 特別展「数多の古墳を築く―群集墳からよむ古墳時代―」
10月5日(土)～12月8日(日)

イ ①特別展「関連講座1」10月13日(日)13:30～15:00
②特別展「関連講座2」10月20日(日)13:30～15:00
対・定・費:小学生以上 各60人 先着順 100円
申:①9月26日～②9月27日～

イ ハニワ・まが玉づくり
10月5日(土)・19日(土)①ハニワ 13:30～②まが玉 14:30～
対・定・費:小学生以上 各日15人 先着順 ①350円②300円
申:9月20日～

けんりつ としょかん ☎073-436-9500 FAX073-436-9501
県立図書館 〒641-0051 和歌山市西高松1-7-38
9:00～19:00(土日祝は18:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)、毎月第2木曜

イ おはなし会(読み聞かせ・紙芝居)
9月14・21・28日14:00～、10月5日11:00～ いずれも土曜
対:乳幼児とその保護者

イ デイタイム・コンサート 10月4日(金)12:00～12:30
定:200人 先着順

イ みんなでシネマ 9月19日(木)10:00～、9月25日(水)15:00～
定:200人 先着順

けんりつ きなん としょかん ☎0739-22-2061 FAX0739-22-4773
県立紀南図書館 〒646-0011 田辺市新庄町3353-9
(県立情報交流センター Big-U内)
9:00～19:00(土日祝は18:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)、毎月第2木曜

イ おはなし会(読み聞かせ・紙芝居)
9月15・29日、10月6日 いずれも日曜11:00～11:30
定:33人 先着順

どうぶつ あいご ☎073-489-6500 FAX073-489-6504
動物愛護センター 〒640-1251 紀美野町国木原372
10:00～17:00 休館/火曜

イ わうフェスタin動物愛護週間
犬の散歩体験、動物とのふれあい、飼い方相談、ぬり絵など
9月22日(祝)・23日(振休) いずれも10:00～16:00

イ 犬・猫の飼い方講習会・譲渡会
①9月2日(月)・7日(土)・15日(日)・21日(土)・29日(日)、
10月7日(月)・13日(日)・27日(日) いずれも11:00～
②10月4日(金)11:00～
場:①動物愛護センター②東牟婁振興局(新宮市)
※犬・猫の譲渡を受けるには、講習会の受講が必要です。センターでは受講者に常時譲渡を行っています。
※犬の譲渡は狂犬病予防ワクチン接種代2,700円が必要です。

なんき くまの ☎0735-67-7100 FAX0735-67-7191
南紀熊野 ジオパークセンター 〒649-3502 串本町潮岬2838-3
9:00～17:00

イ 講演会「気候変動が及ぼす海洋生物への影響」
10月4日(金)14:30～16:00
定・申:50人 先着順 9月2～30日

まいちゃんのワンダフルスポット

まいちゃんがおでかけスポットを紹介!



道の駅「柿の郷くどやま」

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」や戦国武将・真田幸村の魅力を発信する「世界遺産情報センター」があり、町の観光拠点として人気の施設です。他にも「農産物直売所」や創作パンの販売とイートインもできる「ベーカリーカフェ」、九度山の農産物を利用した「バウムクーヘン専門店」、大型遊具のあるアミューズメント広場、芝生広場などがあります。



家族でのおでかけにオススメ!



世界遺産情報センター

アミューズメント広場

施設情報

伊都郡九度山町入郷5-5
☎0736-54-9966
営業時間:9:00~17:30 (事務所)
※駐車場・トイレはいつでも利用可
定休日:1/1~3



紀州高野紙伝承体験資料館「紙遊苑」

弘法大師空海が伝えたといわれる手漉き和紙「紀州高野紙(古沢紙)」、その伝統文化と技術を伝える体験資料館です。館内は、紙漉きの風景や和紙づくりに関する資料が展示されています。紙漉き体験(要予約・有料)では、伝統の技法や材料を使い、実際に紀州高野紙を作ることができます。



和紙作りにチャレンジ!

施設情報

伊都郡九度山町慈尊院749-6
☎0736-54-3484
営業時間:9:00~16:30
休館日:月・火・年末年始



世界遺産登録20周年 イベント開催!

世界遺産登録20周年を迎え、高野町と九度山町が世界に誇る歴史・文化遺産の魅力を伝えるため、イベントを開催します!



第3弾 9月23日 「宇崎竜童コンサート~MADE in JAPAN at 慈尊院」

第4弾 10月14日 「南こうせつ スペシャルコンサート in 高野山」



児童扶養手当・特別児童扶養手当受給者の皆さんへ

①児童扶養手当②特別児童扶養手当の現況届が未提出の場合、手当の受給ができなくなります。未提出の方は速やかに市町村へ提出してください。

問:①市町村、振興局健康福祉部、多様な生き方支援課

☎073-441-2493 FAX073-441-2501

②市町村、障害福祉課

☎073-441-2514 FAX073-432-5567

「食」に関する県民アンケート

15歳以上の方が対象のオンラインアンケート調査です。ご協力をお願いします。

回答期限:12月31日(火)

問:生活衛生課

☎073-441-2622 FAX073-432-1952

大阪・関西万博に向けた 県内イベントを開催!

入場無料

9月 和歌山に空飛ぶクルマの機体が初上陸!

新たな移動手段として地域課題解決への活用が期待される「空飛ぶクルマ」を知っていただくためのイベントを開催します。

時:9月21日(土)11:00~ 場:潮岬望楼の芝(串本町)



10月 大阪・関西万博「和歌山プレ万博」

大阪・関西万博開催を半年後に控え、機運を醸成するための「和歌山プレ万博」を開催!万博に向けたステージや体験など、和歌山で楽しく万博を体感できる参加型イベントです。ぜひ、皆様ご参加ください!



大阪・関西万博公式キャラクター ミャクミャク ©Expo 2025

時:10月12日(土)・13日(日)いずれも10:00~16:00

場:ビッグウェーブ(和歌山市)

内容:万博著名人やお笑い芸人によるトーク、ステージパフォーマンス、ものづくり体験・食・SDGSのブースなど

問:万博推進課 ☎073-441-2703 FAX073-432-4410

人権連載
気こころの
気づき

子どもの権利について

問 子どもの支援課

☎073-441-2497
FAX073-441-2491

「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」をご存じですか。子ども(18歳未満の人)の保護と基本的人権の尊重を促進するため、1989年に国連で採択された条約で、次の4つの権利が定められています。

- ① 生きる権利:子どもには住む場所、食べるものがあり、健康やかに成長する権利があります。病気やケガをしたら治療が受けられます。
- ② 育つ権利:子どもらしく育つために、遊び、学び、休息することが出来ます。
- ③ 守られる権利:安全で安心して生きていくために、暴力や犯罪などから守られます。また、健康に生活できます。
- ④ 参加する権利:自分に関係することについて参加し、自分の意見や考えを言うことが出来ます。

「参加する権利」として、子どもの声を聴き、その意見を表明を支援したり、代弁したりする活動を行う人を「アドボケイト」といいます。県では、アドボケイトを派遣しさまざまな事情で一時保護されたり、施設等に入所している子どもの声を聴き、その声を周辺の大人や社会へ届ける活動に取り組んでいます。

広報番組のお知らせ

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

テレビ テレビ和歌山 **WTV**

きのくに21 日曜 9:30・[再]18:00
9月 1日 アジア・オセアニア高校生フォーラム
9月 8日 地域の防災力を高める～和歌山県消防学校～
9月15日 eスポーツわかやま推進プロジェクト
9月22日 「オール和歌山」で進める市町村DX
9月29日 2025年大阪・関西万博「共創チャレンジ」

県民チャンネル 月・火・木・金・土曜 21:55
マンスリー県政 ニュースワイド 毎月最終金曜 19:30

ラジオ 和歌山放送 **WBS**

みんなを笑顔に!和歌山県政 日曜 18:30
ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:45
県庁だより 毎日 11:40・[再]月～金18:00

インターネット YouTube 
和歌山県公式チャンネル
県の施策や魅力、きのくに21を動画で配信



和歌山県優良県産品

プレミアム和歌山

『プレミアム和歌山』は、“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”視点で審査し、優良な県産品を推奨する制度です。

ウメ缶 どんなときもウメとごはん®

水さえあればいつでもウメごはんが食べられます。5年の長期保存ができて備蓄やアウトドアにおすすめです。



永岡食品株式会社 ☎0739-72-2709

抽選で10名様に「ウメ缶 どんなときもウメとごはん®」(1缶)をプレゼント!

9月20日(金) <消印有効>までに住所、氏名、年齢、電話番号、商品名、県民の友への感想を記入し、ハガキで〒640-8585(住所不要)広報課「プレミアム和歌山」係へご応募ください(WEBサイトからも応募可)。



※皆さんの個人情報は、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱います。

問:広報課 
☎073-441-2032 FAX073-423-9500

知事メッセージ

紀伊半島知事会議 飛び地の村、 北山村にて



紀伊半島知事会議は和歌山、奈良と三重の三県で、持ち回りで毎年開いています。今回は和歌山県主催で、日本唯一の飛び地の村、北山村で開催しました。日本郵政(株)の増田寛也社長をお招きし、「人口減少といかに向き合うか」と題して基調講演をしてもらいました。増田さんは、日本創成会議で10年前に「消滅可能性都市」を発表し大きなインパクトを与えた方です。

今回初めて近隣の市町村長さんにも参加してもらって、人口減少を前提とした「広域連携・広域行政」をテーマに議論しました。人口減少自体は止められないので、どのように賢く縮小していくのか。縮小社会への適応が求められます。一方で、それぞれの地域でコミュニティ機能つまり「共助」の仕組みをつくり、「住みやすさ」を追求する必要があります。そのことで、移住定住も進むはず。その手前の「二地域居住」も進めていきます。


増田さんからは、まずは東京一極集中の是正が大前提だとの指摘があり、「地方創生10年間の取組は効果が出ずに失敗だった。人口の自然減対策としてのこども・子育て支援と社会減対策として東京圏への人口の過度の集中を止める政策を一本化すべき」との提案がありました。

市町村長さんからは、消防やごみ処理など県境を越えた広域連携をさらに深める必要性とその基礎になる道路整備の重要性が指摘されました。

山口賢二村長(当時)のお世話で、北山村の観光資源である「筏下り」体験と、昨年リニューアルしたじゃばら工場いっかだの視察もできました。今後の紀伊半島の過疎地域の未来について、さまざまなヒントをもらえた会議となりました。

和歌山県知事 岸本 周平

広報課WEBサイトから「県民の友」のバックナンバーをダウンロードできます。

県民の友 



総合評価 **80** ・古紙/パルプ配合率 70%以上
・塗工量 30g/m以下

リサイクル適性 
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広告